



日本学術会議主催公開シンポジウム 熊本地震・三カ月報告会

平成28年熊本地震における 日本災害看護学会の活動

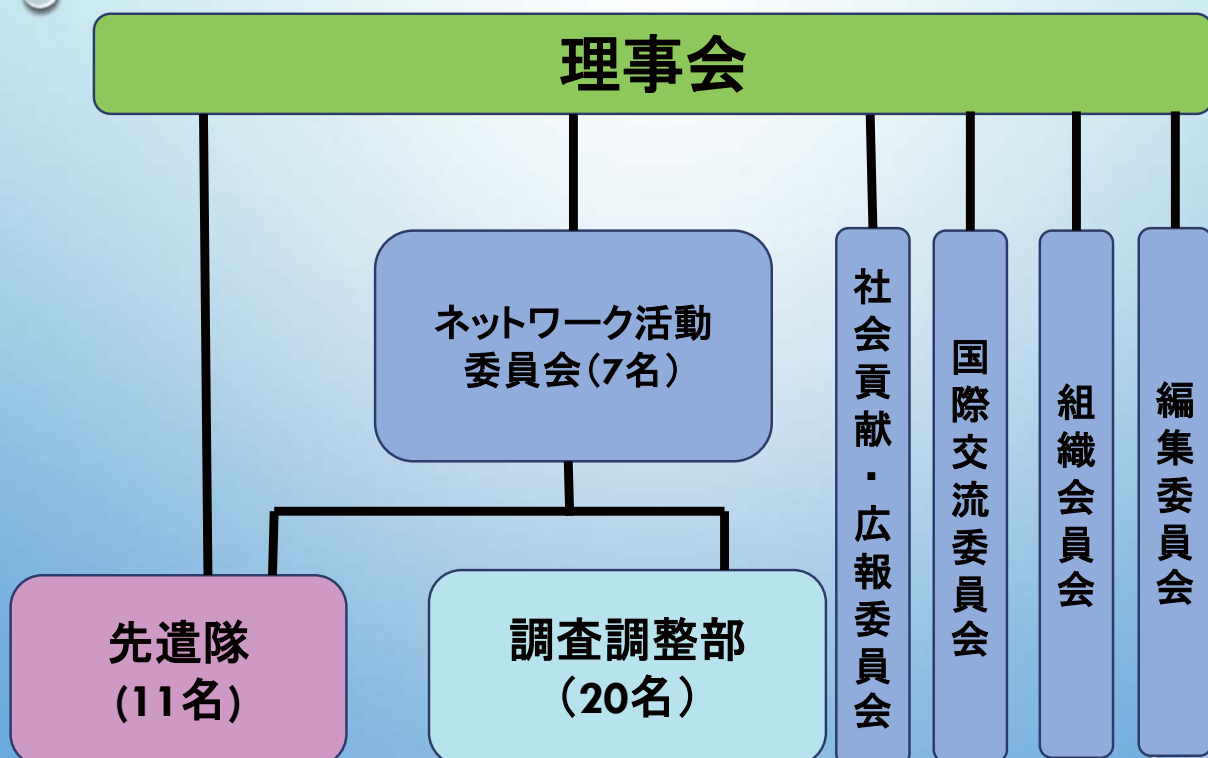
山本あい子¹, 石井美恵子²

日本学術会議にて, 2016/7/16

1 : 日本災害看護学会理事長

2 : ネットワーク活動委員長

日本災害看護学会先遣隊の組織的位置づけ



先遣隊訪問活動（4月15日～4月24日まで）

（10日間、延25名派遣、37ヶ所訪問）

日付	派遣者数と訪問件数	訪問市町
4月15日	移動	
4月16日	3名で2カ所訪問	熊本市、益城町
4月17日	4名で2班に分かれて9ヶ所を訪問	熊本市、阿蘇市、益城町
4月18日	5名で2班に分かれて9ヶ所を訪問	熊本市
4月19日	5名で2班に分かれて6ヶ所を訪問	熊本市、益城町、宇土市、御船町
4月20日	2名で1カ所を訪問	熊本市
4月21日	移動	
4月22日	2名で4カ所を訪問	熊本市、益城町
4月23日	2名で4カ所訪問	熊本市、益城町
4月24日	2名で2カ所訪問	熊本市、益城町

今後の課題（5月2日JSC報告会において）

4月15日～4月24日までの派遣結果に基づき

1. 中・長期的な支援の必要性があることから、他学会/他組織との連携において、必要な健康支援に向けたケア提供を行う体制づくり
2. 仙台防災枠組みの実施に向けて、経験にもとづきより具体的な方略の提案
3. 学術防災連携体としての協働課題/問題の明確化の必要性
4. 安心・安全社会構築に向けた産・学・官における協同活動の開始

先遣隊訪問活動 (4日間:4名、述べ4名)
(総計14日間、延べ30名派遣、48ヶ所訪問)

日付	派遣者数と訪問件数	訪問市町
4月15日	移動	
4月16日	3名で2カ所訪問	熊本市、益城町
4月17日	4名で2班に分かれて9ヶ所を訪問	熊本市、阿蘇市、益城町
4月18日	5名で2班に分かれて9ヶ所を訪問	熊本市
4月19日	5名で2班に分かれて6ヶ所を訪問	熊本市、益城町、宇土市、御船町
4月20日	2名で1カ所を訪問	熊本市
4月21日	移動	
4月22日	2名で4カ所を訪問	熊本市、益城町
4月23日	2名で4カ所訪問	熊本市、益城町
4月24日	2名で2カ所訪問	熊本市、益城町
6月20日	移動 1名で1カ所訪問	益城町、熊本市等
6月21日	1名で5カ所訪問	熊本市、益城町
6月22日	移動	
7月4日	2名で5カ所訪問	益城町、熊本市(教育機関)

熊本県益城町における中・長期支援ニーズ調査

調査日:6月21日～6月24日

調査地:益城町役場、益城町保健福祉センターハピネス、
熊本赤十字病院、高齢者住宅おいけ(福祉避難所)
公民館飯野分館(一般避難所)

調査方法:益城町役場保健医療福祉チームアドバイザー
(DMAT事務局研究員)に同行しての現状把握

状況:

- ①益城町役場保健医療福祉チームの状況について
支援団体:PCAT, JMAT, JRAT, DMAT事務局
主な活動:益城町役場職員のメンタルヘルス対策
避難所・福祉避難所対策

- ②中・長期支援ニーズについて

仮設住宅住民の健康・福祉に関連した支援ニーズの可能性

JSDN理事会の動き(H28年熊本地震に対する支援)

日本災害看護学会理事会開催:6月25日

1. 学会年会費1年分の免除(被災された会員の方)
2. 募金活動開始:2016年4月29日～
目的:被災された会員や看護職による災害看護活動支援
3. 中・長期的に支援を継続することの合意、ならびに組織化
ネットワーク活動委員会と熊本にある教育機関との連携による体制構築
4. 情報発信
 - ①先遣隊派遣報告:5月2日のSCJ熊本地震緊急報告会にて
 - ②ホームページ(本学会・防災学術連携体・JANA)や英文誌から国内外に向けた発信
 - ③8月の第18回日本災害看護学会で「熊本地震緊急討論」セッション企画
5. 必要物資の提供

熊本県益城町での中・長期支援の調整

- 訪問日:2016年7月4日
- 訪問先:①益城町役場、②益城町保健福祉センターハピネス
③熊本大学医学部保健学科
- 調整内容:
 - 1) 益城町役場福祉課担当者と面談
長期勤務可能な看護職確保への対応策について情報交換
 - 2) 益城町保健福祉センターハピネス保健師と面談
 - ①仮設住宅入居予定の要支援者への支援について協議
 - ②ニーズの明確化:要支援者は30人程度の見込み
 - ③資源の明確化:要支援者の訪問や支援を行うための人的資源の不足
 - 3) 熊本大学医学部保健学科教授と面談
益城町の仮設住宅支援についての情報提供と支援の可能性の協議
- 日本災害看護学会熊本プロジェクト活動の方向性
益城町仮設住宅入居予定の要支援者(約30名)の訪問等の支援活動
益城町保健福祉センター保健師の負担低減に向けた支援



赤井地区仮設住宅



福祉避難所に関する相談



保健福祉センターハピネス保健師と面談

今後の課題

1. 中・長期的な健康支援に必要な体制構築
日本災害看護学会と熊本周辺の教育機関の協働・連携構築
2. 活動/研究/教育のための資金確保
良策を教えてください！
一緒に活動等をしませんか？
3. 仙台防災枠組みの実施に向けて、本経験にもとづいて、より具体的な方略の提案
4. 学術防災連携体としての協働課題/問題の明確化の必要性
5. 安心・安全社会構築に向けた産・学・官における協同活動の開始